

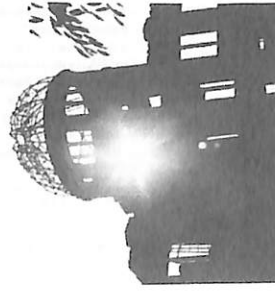
会員のひろば	2面
10000羽の折り鶴	2面
愛のカンパのお礼	2面
各イベントの案内	3面
総支部だより	3面
人の動き	3面
ブロックだより	4面
支部協の動き	4面

泉何堪

NTT 労組退職者の会・大阪支部協議会
〒553-0003 大阪市福島区福島3丁目1-73 コミュニティプラザ大阪内
発行責任者 鷲倉 保
編集責任者 小林
Tel. (06)6451-8100
Fax. (06)6344-9382
<http://business3.okala.or.jp/ntttai/>

安心・信頼・生きがい、あふれる21世紀、みんなと共に

生きたつては
原子爆の下に



題字：森滝 市郎
故 原水禁国民会議議長

交換台の中央のインジケータ（西の加入者から接続する台）が故障と言われ、機械の試験をしていました。

空襲解除のサイレンにホッとすると聞もなく、ジャックからパツと火花が散ると一瞬にして交換室が真っ暗になり、ゴォーともものす

それは、身の毛もよだつ出来事です。誰もこんな惨い事が起きるとは露知らず、空襲、空襲と前日からの疲れにも負けず「おはよう」と朝の元気な声をかわしながら交換室で「何番へ」「ハイ」の声もほがらかにハリキッて交換作業に一生懸命でした。

昭和二十年八月六日午前八時十五分、この世の生地獄とはこの日のことをいうのでしょうか。

何ぞ聞かばなり置の母心
藤田 井ノ口

しばらくして「ありがとう」と
言いつつその男の子は、お母さん
のところに旅だつて逝つたのです。
「早く局の外に出ないと蒸し焼き
になるぞ」の看護員さんの声で、
水をかけながら外に出ようとした
時、カスガイが足にぐさりと突き
ささりました。ちょうどその時、
向うから女の人が花だけになつた
傘を持ち爆弾のためおかしくなつ
たのか、ニコニコ笑つて来たのを
今もハッキリ覚えています。

「危いよう、危いよう、もうだめ
だ」と泣きながら歩いている人、

「お母さん、お母さん、助けて目が見えないよう」と泣き叫ぶ。私は機械を上下する床底と一緒に一階まで落ちてしまいました。それからあと、どうしたのか分かりません。手さぐりで交換室から出て見れば、窓は破壊され壁はぐれ落ち、部屋の中には友が倒れ外を見れば全部火の海なのです。その時まで、私が機械をいらばかりに火事を起してしまつたのだと思つて、皆なの無事を祈っていました。しばらくして、外から真黒に火傷した男の子が泣きながら「母さんが死んだ、母さんが」と、しがみついてきました。可愛想にと思い、事務服を着せ抱いて台の上に寝かせてやろうとすると、身体の皮がつるりととれてしまいました。

こい音を立てて（筆では、言い表
わせないような……）砂煙がいつ
ぱいに広がり、目をあけることも
出来ない。

大阪支部協の活動として被爆六〇年のこの八月六日の広島の記事に、千羽鶴を持参することについては前号でお知らせしました。二面に掲載のように集まった折鶴は一万羽にもなり、八月六日献鶴。その訪問体験記は次号で記載しますが、それに先立ちNTT労組広島の仲間の被爆体験記を「摂河泉OB」に記載することを企画し、広島県支部協議会に依頼をいたしましたところ、広島支部協より昭和四五年七月二五日、全電通広島被爆者連絡協議会発行の「原子雲の下に生きつづけて」と題された被爆体験文集が送付され、そこから抜粋してもらっていいところよい協力を頂きました。しかし紙面の関係で一編のみの掲載となりましたが、読んで頂きたい寄稿が多くあり次号に掲載致します。

全電通広島被爆者体験記

身体が焼きただれて茫然とたたずむ人、うつろな目で空をあおぐ人、そして「水、水、水」と叫びながら川に飛び込む人、遠くでは火の中を小さな子供が足をバタバタさせながら苦しみがいている、私はその子を抱きしめてやりたくても歩く気力がない、首からの出血はひどくなり意識が薄らいでいきました。友達に手を引かれて比治山の防空壕までやつとたどりつきました。だが、その防空壕の前でバツタリと倒れ、もう目がまったく見えなくなっていました。かつて兄の戦死した同じ日に私も死んで逝く……何も聞えない闇の中で、……そう思いました。

何時間だったのか、誰かが「この娘は首が切れている、可愛想に」という声に意識がもどり、アカチンをつけたり、ここではないと壕の中に運ばれ、毛布を一枚敷いた上に寝かせてくれ、看護してくれました。それはやさしい兵隊さんでした。そのうち二人の学生さんが入ってきました。一人は背中を、もう一人は顔が分らないくらいに上半身、火傷をしており、私は気の毒に思い、その人に毛布をゆずつてあげ、その夜遅く家の人に連れられ二人の学生は帰っていきました。

壕の中の夜は、暗くない。
 そこにも、ここにもただ息をし
 ているというだけで、暗い地の底
 にうずくまつて淋しさと悲しさに、
 とうとう私は泣きだしてしまいま
 した。七日の朝、高田郡から年老

いたお医者さんが来ました。
壕の出口入口には、寝たきりの
人がたくさんいるのに、医者は一
本しかない注射（強心
剤）を「ハイ腕を出して」と、打つ
てくれました。

それから三日間、一滴の水も飲まず寝たつきりだったので。

名も知らぬ人に頼んだ親切で、その日の夕方父と妹が迎えに来てくれ、そのときの嬉しさは胸がいつばい、何も言えず涙が出るばかりでした。やさしかつた兵隊さん、命を救つて下さつた先生名も知らぬ親切な方、その方々の恩は一生忘れることは出来ません。

く死んだ人達が折り重なり焼かれていく煙が、においが、何とも言えない哀れさが私の身体にしみついています。

宿明けだった可愛い女の子の「歌を書いてね」と言った最後の声は、今なお、夢の中に出てきていつもエンピツをたくさん持つて「お姉さん、いつか書いてね」と私に呼びかけてきます。「このラブレターを渡してね」と頼んだ彼女、ケーブルを疎開させて電話線の損害を少なくさせた賢かったあの人の、青春を空しく散って逝った兄、そして私を捜し求めて花の命も短かく散っていった妹。

それから何も知らずに逝った幼子、たくさん尊い命を奪つていった憎い戦争！ 恐い戦争！ 私は今も首に、足に、大きな傷があり、身体のあちこちにたくさんガラスが残っています。

今日も又、右腕の中に入っているガラスが、筋をつつく、痛い！ひとりで小さな悲鳴を上げ、その度にあの時の恐しさを思い出します。

花は散つて、又咲くものを
なぜに恋しい人の身は
想いのこして
散りて逝く
(五日市廿日市電報電話分會)

行云流水

残暑お見舞い申し上げます。今年も暑い夏、遠慮会釈なく照りつける日差しに、それだけで体力が消耗する思いです。今月は共済の契約更新の月間です。先月ブロック委員、幹事が汗びつしよりで作業を行い、五千通を超える書類を発送しました。返送の締め切り日も迫ってきています。ご協力お願いします。発送日現在で昨年度の未納入者は十九人でした。

八月は広島・長崎、そして敗戦の日です。あの日も晴れた暑い日でした。家の照明にシェードをしていた毎日の暗い夜がいつきに明るくなつたことを覚えてます。そんなことも平和の実感でした。戦後六〇年。時間の経過とともに激動の戦争の時代は風化されようとしています。祈念の想いをこめて取り組んだ広島平和ツアーは被爆の実態を、もう一度見つめることも、語り継がれる貴重な体験、見聞を聴く機会も持ちました。戦後の復興の時代さえも過去に埋没していつとしていきます。昭和前半の戦争という残酷な体験を伝えたいと願うものです。

郵政法案でもたたっているうちに、多くの法案の審議がおくれているようです。年金課税の強化や介護保険料の負担増など先行き不安な話題ばかり目につきます。激変緩和の措置も報じられてますが、福祉、年金など社会保証制度の確立が私たちの願いです。

お盆はいかがですか。例年通りいつもの静かな家が賑やかな声と笑顔につつまれ団欒の時を甲子園の熱戦も共に楽しまれていることでしょう。そしてしみじみと故人を忍ぶ時でもあります。今年も世話になった先輩友人が鬼籍に入りました。ご冥福を祈ります。

立秋を過ぎて朝の風、夕べの空の色にわずかに季節の変わりを見る想いがします。十月の総会に向けて準備に入ってます。



(右から 吉田 三浦)

数ある見学地の中で最も印象に残っているのは、ベトナム戦争中に掘ったというクチの地下トンネルです。実際に二十m程潜ってトンネル内の生

活状態をみてきました。計算しつくされた形状や、兵器を加工して作成した生活用品の数々にベトナム人の頭の良さ、器用さ等を感じ、十七年も戦争が長引いた理由が解ったような気がします。

米兵が、当時ベトナム兵の事を「兵士はいるが姿が見えず」と言っていたというガイドの言葉が耳に残っています。ジャングルで敵の姿が見えず、しかし確実に存在するという恐怖感から枯葉剤がまかれたのだと思いました。

我が退職者の会からの参加者は六名でしたが、毎回の「馳走三昧」に常に笑い声が絶えることのない食事タイム、市場で買った日本にはないフルーツをホテルで食すなど、楽しい毎日でした。現地の昼間の気温は三十度前後でしたが夜は爽やかで想像していたよりも快適でした。

枯葉剤が撒かれた戦争

三浦 啓子(なな)

今回は本年四月、連合大阪高齢・退職者の会主催のベトナム交流訪問団に参加された会員からの寄稿記事(前号に投稿されましたが紙面の都合で今号に記載)と、北摂ブロック企画の社会見学の投稿記事を掲載しました。

会員のひろば

今年度は劇団四季のチャリティで開催されます。収益金はNPO法人「ヴィ・リール生活支援センター」の施設建設に役立てられます。チケット希望の方は、大阪支部協議会へ連絡下さい。☎06-6451-8100

五月初旬参加費二〇〇〇円を払い込み待つ事久し、午前八時集合場所「R大阪城公園駅」に着く、ツアーには自分達愛飲家のみでなく真珠工場見学もあり特に女性の参加者も多く見受けられた。出発時刻には参加者八十名となり、田崎真珠差し回しの専用送迎観光バス二台に分乗、出発から四十分余九時十五分にはポートアイランドの田崎真珠本社工場パールプラザに到着。海老浦氏の説明によると、現在の真珠は殆どが養殖で、アコヤ貝、他母貝により色目をピンク、ゴールド、ブルー、ブラック等に、また入れる核の大きさで、真珠の大小も決まる。核は一

田崎真珠工場とビール呑み放題に参加して

横田 幸男(北摂)

日本は戦後六十年の現在、物質的には豊かになったもののメンタル的には貧しくなったという昨今の世相を今一度考えさせられる有意義な旅でした。

我が退職者の会からの参加者は六名でしたが、毎回の「馳走三昧」に常に笑い声が絶えることのない食事タイム、市場で買った日本にはないフルーツをホテルで食すなど、楽しい毎日でした。現地の昼間の気温は三十度前後でしたが夜は爽やかで想像していたよりも快適でした。

米兵が、当時ベトナム兵の事を「兵士はいるが姿が見えず」と言っていたというガイドの言葉が耳に残っています。ジャングルで敵の姿が見えず、しかし確実に存在するという恐怖感から枯葉剤がまかれたのだと思いました。

活状態をみてきました。計算しつくされた形状や、兵器を加工して作成した生活用品の数々にベトナム人の頭の良さ、器用さ等を感じ、十七年も戦争が長引いた理由が解ったような気がします。

ベトナム友好の旅に参加して

吉田 清(北摂)

木々の新芽、青葉の顔出しを横目で見ながらの出発でした。出国の相應の手続きを済ませ雷さまにあやかた訳ではないが「夕立ち」。

連合大阪高齢・退職者の会の企画で三十八名の陣容、傘寿を越えた二名を入れて平均年齢六十九才とのこと。太陽の沈む西方向へ行くこと五時間余、隣席の相方と腕時計を二時間遅らせてのハノイ到着。その時計は夜の十時十分を指す。夜とはいえブレザーは暑かった。一夜明けて早々に二台のバスに分乗。やっぱしあるね、仏教徒が全国民の八十%、フランス植民地時代の影響を受けてのキリスト教徒十五%の数字が示すとおり、その時々につづる宗教にまつわる名跡、古刹。あまり深くは分からずそれなりに見学、参詣を済ませた。午後は有名な水上人形劇を鑑賞、劇場は色々な国の人で満席の盛況。舞台は畳三十畳ほどの水盤

一二年間抱かす事でマイクロン単位数百層の巻きと、照り、色目、形、傷、が形成される。製品に成る迄の工程も選別、デザイン、プレス、彫刻など。

次いで会員仲間の東久保さんがモデルとなり、ホワイト、ブルー、ナチュナル製で数万円、十数万円。形も一重、二重もの又、和田アキ子さんが選んだトリオ三個製など身に付け場内をデモリ盛んに喝采を受けた。モデル効果もありその後の商品展示即売場では予想以上の売り上げとなり会社側より感謝の言葉もあった。

次いで御影塚町の小倉屋工場直売場(土産付き)に立ち寄り昆布、佃煮、他総菜物各種を見て回り値段も二、三割引と有り、お土産に買う。その後西神中国道沿いのキリンパーク神戸に十二時過ぎ到着

する。キリンビール神戸工場は一九九七年五月、元尼崎工場より移転、広大な敷地に最新設備が取り入れられていた。

ここでも専属ガイド嬢によりビールが誕生するまでの全工程説明と、一分間二〇〇〇本世界最速レベルのパッケージングなど、ガラス戸越しに全工程オートメされた缶詰ビン詰工程ラインを二班に分かれ見聞後、ビュレストラに移り待望の昼食は、八人用のテーブル上にオリジナル料理、手作りパン付きが十卓用意され、一番搾り(生)とラガービールが飲み放題と超豪華、約一時間余、飲み且つ食べ出発時間ぎりぎりまで充分楽しむ。帰路車中でもなにわブロックの香川さんが今日の感想を詩に託し森川さんが充分潤った喉で詩吟を吟じ一層盛り上がった一日でした。

ボチボチ飲み疲れの出できそうな五日、六日目。その言葉どおり口

次なる日は、古都フエへ航空機での移動。そして数々の帝廟を見学、そして夕食には全員が宮廷人に仮装、ホテル内の食事場所へは、古楽器に合わせたの行進入場。ちよびり感激、生演奏での宮廷料理を戴く。歌うお姉さんはなかなかの美人!最前列席だったので思わず見とれどーもどーこに入つたやら……。

のデッサン。素朴な人形の立ち居振る舞いにこの国の人々の心根を垣間見たような深い感銘を覚えた次第。出口で貰ったCDの英語での解説を、帰国後、息子に説明して貰いナニッど納得。

10000羽の折り鶴ありがとう

昨年より始めた「世界の平和を願う折鶴」が10,000羽に達し、広島と長崎へ30名のボランティアが献鶴に行きました。クスマヤメッセを付け、現地の様子像の前に設置された献鶴用のブースが準備されていました。

「継続すること」は難しいものですが、世界平和のためにこれからもコツコツと頑張って行きましょう!次号に詳細記事を掲載します。

機内泊で朝六時には懐かしの関空に着陸。ヤレヤレ。帰国後ベトナム戦争終結三十周年の祝賀祭典をテレビで見ても感慨もひとしお。我々参加者六名、沢山撮った写真を持ち寄りコンボでビールでも飲みながら交換会でも開くとするか。

最終日の七日目はホーチミン市に航空機で移動、午前には郊外の「クナ」という所の戦略用地下トンネルくぐり抜ける体験、暗い狭い所を四つん這いで歩み。もうゴリゴリ。太つちよのアメリカ人は連れまへん。昼食はホーチミン市労働総同盟との交流会。わが退職者の会の鶴谷会長の音頭で乾杯。この昼食は豪華で今までで最も美味。

劇団四季 ファミリーミュージカル

魔法をすてたマジョリン チケット幹旋

9月23日(金) 16:00会場 17:00開演
尼崎アルカイクホール <最寄り駅 阪神尼崎駅>

S席 5,250円 A席 4,200円 B席・車イス席 3,150円

本公演は劇団四季のチャリティで開催されます。

収益金はNPO法人「ヴィ・リール生活支援センター」の施設建設に役立てられます。チケット希望の方は、大阪支部協議会へ連絡下さい。☎06-6451-8100

愛のカンパにご協力

ありがとうございました

956,000円 615名

今年度の愛のカンパは、災害カンパ、平和カンパと続いたにもかかわらず多くの会員のご協力により上記のカンパが寄贈されました。熱くお礼申し上げます。

新穂高温泉と雲上の乗鞍へ 1泊2日の旅

10月5日(水)～10月6日(木)

集合出発 JR 大阪城公園駅 午前8時出発
会 費 24,500円 (会員外 26,000円)
定 員 80名 (先着順)
申込締切 9月8日(木) 午後4時までに
(コース) 出発→美濃白鳥(昼食)→飛騨古川(散策と渡辺酒蔵見学)→新穂高(宿泊)→ホテル9:30出発→乗鞍スカイライン→
乗鞍岳(散策)→赤かぶの里(昼食)→高山ラーメン工場→大阪市(18:00頃予定)

宿泊場所 新穂高温泉「穂高荘 山月」
食 事 朝食1回、昼食2回、夕食1回
大阪支部協へ電話で ☎06-6451-8100

泉州名物「岸和田だんじり祭り」観覧(昼食付き)

日 時 9月13日(火) 雨天決行
集 合 11時30分
場 所 南海岸和田駅中央改札口前
食 事 カンカン場特設会場 特別席
費 料 料亭「ふじ原」
定 員 6,000円
抽選 定員30名
一般会員を優先とした抽選とします。
申込締切 8月26日(金) 16:00
申 込 先 大阪支部協 ☎06-6451-8100
そ の 他 当選者には振込用紙と案内書を送付します。



第53回ノース・リバー会ゴルフコンペ

9月7日(水) 午前8時15分集合
開催場所 太平洋宝塚コース ☎0797-91-1001
〒669-1205 宝塚市芝辻新田字花折 7-2
スタート 午前9時03分(アウト・イン同時スタート)
参 加 費 3,000円(商品代、懇親会費等) 受付にて徴収
定 員 40名(先着順)
プレー費 13,000円(昼食。キャディ付き。乗用カート)
各自払い
申込締切 8月20日(土) 大阪支部協へ(☎06-6451-8100)

硬式テニスサークル 和歌山・美山温泉合宿

6月8日～9日、紫陽花の咲く、美山温泉で例年どおり、全天候型ドーム2面を借り切り、ホーホケキョの声をバックにドームにポーンとこだまする心地よい打球音を二日間堪能した。周辺にはみごとに「藤棚」が大スケールであり、来年はこの時期に来ようと話しあっていた。

初心者歓迎です。いつでも遊びに来て下さい。細部は、ホームページ・サークル欄をご覧ください。



人 の 動 き

ご冥福をお祈りします

長田 文子	2004年9月25日	上野 務	2005年6月15日
濱 善男	2005年2月14日	森本 英雄	2005年6月19日
仲谷 正一	2005年3月5日	佐藤 方子	2005年6月30日
増田 坦	2005年4月1日	生尾清十郎	2005年7月1日
平原 康弘	2005年4月5日	森田トヨ子	2005年7月3日
佐野 栄一	2005年4月7日	長田喜八郎	2005年7月3日
林 正之	2005年5月4日	竹村 惣	2005年7月11日
吉田 博充	2005年5月8日	辻 文次郎	2005年7月14日
川並彦太郎	2005年5月22日	山本八重子	2005年7月19日
谷口 貞男	2005年5月24日	吉本 玲子	2005年7月20日
田村 實	2005年6月14日	小泉 有	2005年7月22日

カルチャー 男の料理教室

9月30日(金) 10月17日(月)

いずれも13時～17時

実施場所 大阪市立いきいきエイジングセンター 調理実習室(3階)
内 容 第1回 残り物でつくるクラシックなオムライス&簡単な酒の肴
第2回 にぎり寿司(復習)と細巻きとのコラボレーション
募集人員 20名
受講料 2,500円(2回分) 材料費とも
講 師 前中 良介(会員)
申込締切 9月16日(金)午後4時大阪支部協へ ☎06-6451-8100

第14回囲碁大会結果報告

第14回囲碁大会は7月22日(金)10時よりコミュニティプラザ大阪 退職者談話室で21名の参加者で開催、下記の会員の方が入賞されました。

A組	優勝	井口 義久(三段)			
	準優勝	清水 義正(四段)	三位	野原 博(四段)	
B組	優勝	岸大路康之(初段)			
	準優勝	桜井 昭寿(二段)	三位	田村 桂一(初段)	

大阪総支部だより

第八回全国大会に参加して

N T T 労 組 大阪総支部 副執行委員長 川本 正

第八回定期全国大会は、七月一二日沖縄で開催されました。森嶋中央執行委員長は、冒頭あいさつで「沖縄大会」の意義について以下述べられました。沖縄は六〇年前本土決戦の「捨て石」作戦により多数の住民を巻き添えにした地上戦が展開され、住民には筆舌に尽くしがたい凄惨な体験を強いられ、又、戦後六〇年を経った今日まで戦争の傷跡深く残っている地であります。さらに、祖国日本に復帰し三三年がたった今日、在日米軍の七五%が沖縄に基地を集中させているのが現状です。

今年は戦後六〇年の大きな節目にあたり、労組としてこれまで取り組んできた平和運動を今後も継続した運動の取り組みとすると共に、戦争を風化させない取り組み強化とする為にも沖縄での開催と

なりました。

第八回大会では、高度情報化社会の発展と雇用の安定・確保、働き甲斐のある職場作りに挑戦する「二二〇五年度運動方針」を満場一致決定されました。また、沖縄平和宣言もN T T労働組合の基本理念「共存・共生」の精神に基づき「平和なくして労働運動なし」。平和な社会実現に向け全力をあげることが確認されました。大会後の一四日に行われた情報労連「沖縄ピースステージ」に一五〇〇名が参加、大阪総支部から一名が炎天下の中「平和を願い」嘉手納基地をデモ行進六キロを行動しました。

退職者の会の皆様にも、「広島・長崎」の平和行動である「折鶴の作成」の協力にたいして大阪総支部として御礼申し上げます。

